




伝

TUFS 東京外国語大学
2024年度オープンキャンパス

高1 限定企画

「英語好きから踏み出す次の一歩」

13:30-14:40 101教室



— なぜ高1か？

高1の夏…

◎中学生から高校生へ…何が変わった？

◎〈学び〉のステップアップ…学問とは？

◎高校での学習と志望大学選び



高校での学び



〈高校での学習〉

高校：生徒間の実力に差が無い状況からスタート！

中学時代よりも**専門的で深い学び**へ


学びと経験を通して「個」をみがく3年間

〈どの大学に進学したいか、を考える〉

大学で学べる**学問分野**を知る→今の学びの位置づけが明確に

大学を通して接続できる**世界の広がり**を知る→個をみがく「窓」を見つけるきっかけに

→高校での学びに**見通し**と**力強い動機**、そして**具体的な目標**が生まれる



探究とは何か



1. 教科書を踏まえつつその枠を飛び越えて〈問題〉
を自分の〈問い〉として追究

※問題＝社会が抱える問題、学問が問うべき問題

2. 答えが複数あること、答えが変化しうることを認める

※社会が変化するため／「対話を」繰り返す必要性

3. 自身の意見を言葉に表して「伝える」こと

伝える…

伝える



(1) **受ける方**に重点をおいて用いる場合。

(イ)物を受けつぐ。ひきつぐ。(ロ)人づてに聞く。うわさに聞く。(ハ)学問や技芸を授けてもらう。教わる。伝授を受ける。

(2) **渡しやる方**に重点をおいて用いる場合。

(イ)手渡す。ゆずりわたす。(ロ)後代まで順送りに言い知らせる。語りつぐ。言い残す。申し送る。(ハ)広く言い知らせる。次から次へと言ひひろめる。言いふらす。吹聴する。
(ニ)学問や技芸を授ける。教える。伝授する。(ホ)意向や情報などを知らせる。

(3) **移行のなかだちとなる**ことに重点をおいて用いる場合。

(イ)ことばを取りつぐ。伝言する。なかだちをする。(ロ)はこぶ。運搬する。もってくる。
(ハ)移動させる。伝播(でんぱ)させる。「振動を伝える」「熱を伝える」

※伝う：「ある物から離れないようにして、その物に沿って移動する」

(小学館『日本国語大辞典』第二版)



① 翻訳がひらく世界

〈翻訳を担ってきた東京外国語大学〉

翻訳150年：日本の近代化、戦時下、戦後

ダンテ『神曲』河島訳から原訳（2018）へ

〈学習における翻訳〉

英語を訳す → 的確な日本語、美しい日本語を心掛けてみる

日本語を訳す → 的確な英語、美しい英語をさがしてみる

※言葉の可能性は無限大





②世界史を学ぶ意味

東京外国語大学の〈世界史〉

- 約10年前から**探究的な出題**を重ねる：地域の多様性、**分野**の多様性（医療、ジェンダー、啓蒙思想など）、世界史の知識を土台に、資料を読解し、問いに対する解答を作り上げる問い
- 教科書を超える：日々の時事ニュース、身の回りの物（ジーンズ）、教科書にはない文学作品（メルヴィル『白鯨』）や建築家（ル・コルビュジエ）…

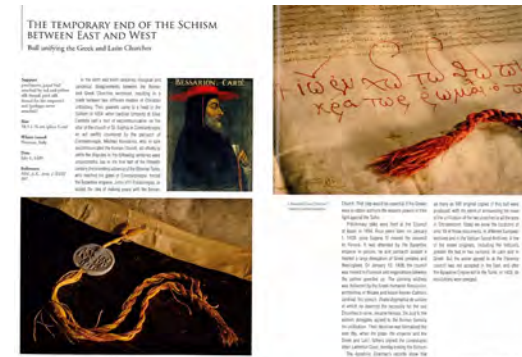
「問い」に答えるために必要な資料を結びつける感覚

自分の中に〈**知の網の目**〉を構築する

新たに知を得る→網の目は密になり〈**形（意味）**〉を紡ぎ始める

「星座」「思考空間を広げる」「目を凝らす」

（小川幸司『世界史とは何か』）



TUFSを目指す視点

✚ 英語を学ぶ「視点」

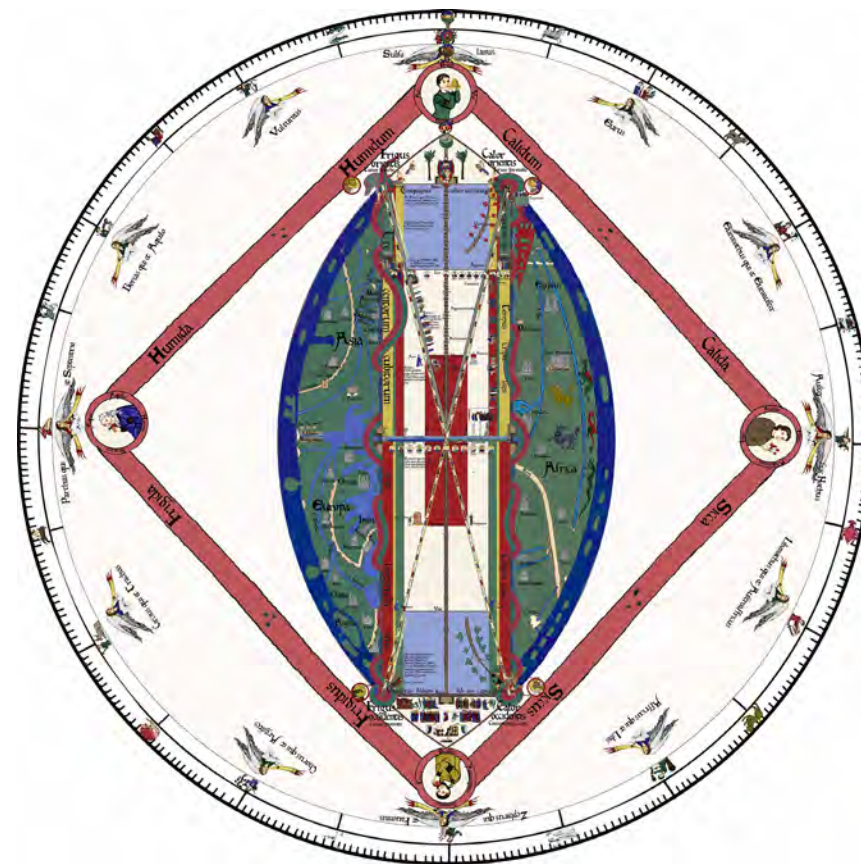
- ▶ 模擬授業「三単現のs」→言葉を学ぶ視点
- ▶ 英語を学ぶことは、世界の共通語を磨くと同時に、世界の諸言語を学ぶウォーミング・アップ
- ▶ 言葉がひらく**世界の出来事への窓**、**世界の人々への窓**

✚ 数学II、データサイエンス

- ▶ **自由七科**（文法・修辞学・論理学+算術・音楽・天文学・幾何学）
⇒バランスの良い学問的基礎が、**創造と正しい判断**を導く
※「苦手な科目」…迫り方（アプローチ）を変えてみよう

✚ 芸術学（文化）

〈美〉を追求せよ！ 文字の美、言葉の音の美、身体の動きの美





— 本学在学生在が思い出す〈高1時代〉

- ◎ 東京外国語大学を志望したきっかけは？
- ◎ 高1時代、何を考え、何をしていた
(高校での勉強、志望大学の絞り込みなど)？
- ◎ いまから思えば、**何**をしておけばよかったか？
- ◎ 〈**推薦入試**〉を目指すには？



英語好きから踏み出す次の一歩とは

① 英語を学ぶ自分を見つめ直してみる

そこから世界の諸国語を学ぶ道が開けてくる

② 英語を訳す、日本語を英語に訳すこと（伝える!）


半分は相手の言いたい事をしっかりと理解すること、

半分は理解したことを、自分だけの美しい日本語に紡いでいくこと

そのためには、相手の文化や社会を理解し、自分だけの「個」を磨いていくことが大切

③ 英語に取り組む先には、世界が歩んできた歴史と世界の現状がある

世界史の勉強と英語の勉強を主体的に結びつけていこう



高2・高3のオープンキャンパス

高2 — 大学で何を学びたいか、将来どのような仕事を担いたいか、先生や大学生に聞いてみる

高3 — 受験への対策は万全か、どの学部を受験するか、どの地域や言語を選ぶか、そしてモチベーションを高める



来年も、待っています！

